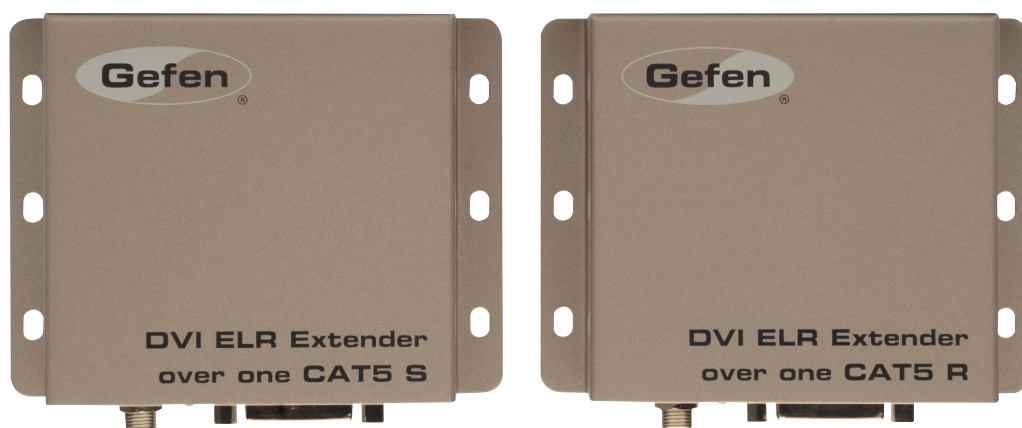




DVI ELR Extender over one CAT5

DVI 延長機
EXT-DVI-1CAT5-ELR
取扱説明書



■安全上の注意

この度は Gefen 製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

- 注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・必ず付属の電源アダプター、電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。
- ・AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- ・分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- ・雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。



注意 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- ・万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- ・以下のような場所には設置しないでください。
直射日光の当たる場所 / 極度の低温または高温の場所 / 湿気の多い場所 / ほこりの多い場所 / 振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- ・配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ・ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- ・廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

■修理品発送時のお願い

本製品は、送信機と受信機に同一のシリアルナンバーが割り振られています。万が一、不具合が発生し修理の依頼などを行う際には、本体裏面に記載されているシリアルナンバーをご確認いただき、シリアルナンバーを揃えた状態で、送信機と受信機の両方をご発送いただけますようお願いいたします。



▲シリアルナンバー表示例

■使用上の注意

- ・複数の延長機を同時に使用する場合は、必ず同一シリアルを送信機、受信機同士で運用してください。
- ・送受信機間の伝送は必ず 1 本のケーブルで接続し、パッチパネルなどを間に使用しないでください。

■目次

■安全上の注意	2	◆操作方法	4
■修理品発送時のお願い	2	■LEDインジケーターステータス	4
■使用上の注意	2	■DIPスイッチの設定	4
■目次	2	●デフォルト設定	4
◆はじめに	3	●EDIDマネージメント	5
■製品の特長	3	●Hot-Plug Detect (HPD)	5
■梱包内容の確認	3	●電源モード	5
◆各部の名称と機能	3	●[Long-Reach]モード	5
■送信機	3	◆付録	5
■受信機	3	■仕様	5
■接続方法	4		
●接続図	4		

◆はじめに

■製品の特長

- ・ 1本のCAT-5eケーブルでDVI信号を最大150mまで延長
- ・ 最大対応解像度：1080pフルHD、1920 x 1200 (WUXGA)
- ・ EDID マネージメント機能
- ・ HPD バススルー機能
- ・ 節電（エコモード）セレクタスイッチを装備
- ・ 150m/100mレンジセレクタスイッチにより、解像度に応じて延長距離を変更可能
- ・ ロック式電源を採用

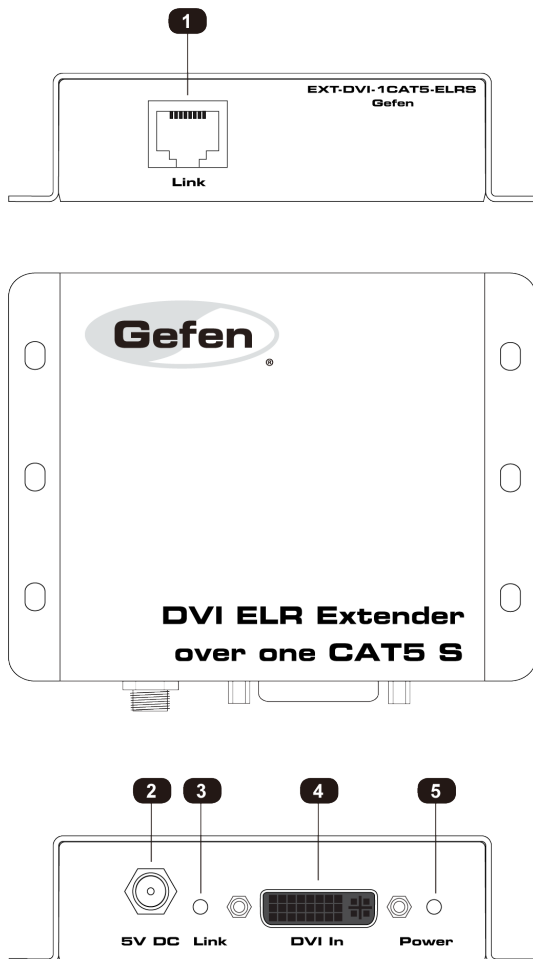
■梱包内容の確認

万が一足りないものがありましたら、購入された販売店までご連絡ください。

- ・ 送信機×1
- ・ 受信機×1
- ・ デュアルリンクDVIケーブル（M-M、1.8m）×1
- ・ 電源アダプター×2

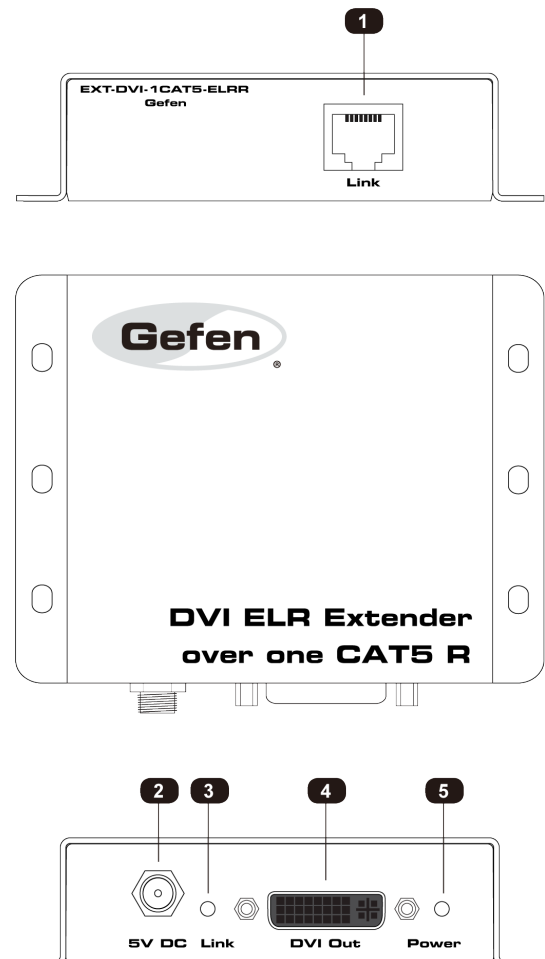
◆各部の名称と機能

■送信機



① LINK	CAT-5eケーブルを使用して、受信機の「LINK」端子に接続します。
② 5V DC	付属の電源アダプターを接続します。
③ LINK インジケータ	現在のステータスを表示します。詳しくは「LEDインジケータのステータス（4ページ）」を参照してください。
④ DVI In	付属のDVIケーブルを使用して、DVIソース機器を接続します。
⑤ POWER インジケータ	送信機本体に電源供給されているとき、青く点灯します。

■受信機

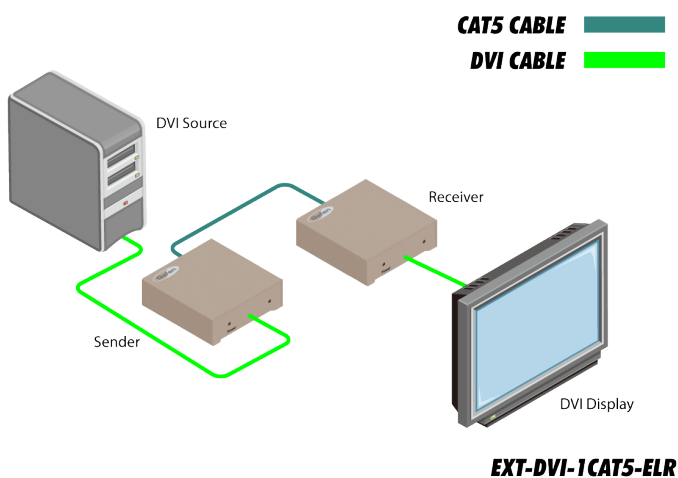


① LINK	CAT-5eケーブルを使用して、送信機の「LINK」端子に接続します。
② 5V DC	付属の電源アダプターを接続します。
③ LINK インジケータ	現在のステータスを表示します。詳しくは「LEDインジケータのステータス（4ページ）」を参照してください。
④ DVI Out	DVIケーブルを使用して、表示機器を接続します。
⑤ POWER インジケータ	受信機本体に電源供給されているとき、青く点灯します。

■接続方法

- ① 付属の DVI ケーブルを使用して、送信機の「DVI In」端子に DVI ソース機器を接続します。
- ② 別の DVI ケーブルを使用して、受信機に DVI 表示機器を接続します。
- ③ CAT-5e ケーブル (またはそれ以上) を使用して、送信機と受信機の「LINK」端子を接続します。なお、延長距離は最大 150m です。
- ④ 送信機と受信機に付属の電源アダプターを接続します。なお、ロック式電源端子の締め過ぎにご注意ください。
- ⑤ 電源コードをコンセントに接続します。

●接続図



◆操作方法

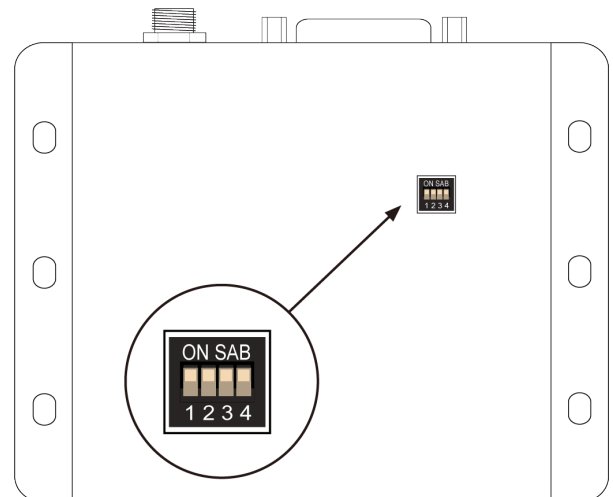
■LED インジケータのステータス

送信機と受信機の「POWER」と「LINK」LED インジケータは、延長機の現在のステータスを表します。下表の情報は送信機と受信機両方に該当します。

LED	ステータス	説明
Power	青く点灯 ●	・ 送信機 / 受信機は電源に接続されています。
	消灯 ○	・ 送信機 / 受信機は電源供給されていません。 ・ 送信機と受信機に電源が接続されていることを確認してください。 ・ コンセントが通電していることを確認してください。
LINK	緑色に点灯 ●	・ 送信機と受信機間の接続が良好な状態を示します。 ・ 送信機にソース機器が接続されています。 ・ 表示機器 (またはその他のシンク機器) が受信機に接続されています。
	緑色に点滅 ⊙	・ 送信機にソース機器が接続されていません。 ・ 表示機器 (またはその他のシンク機器) が受信機に接続されていません。
	消灯 ○	・ リンク接続が確立されていません。 ・ 送信機と受信機間 (LINK) のケーブルを確認してください。

■DIP スイッチの設定

送信機と受信機の底面に 4 系統の DIP スイッチバンクがあります。DIP スイッチバンクを保護しているシールを取り外してください。これらの DIP スイッチは EDID マネージメント、HPD パススルー、電源モード、延長距離の選択などを設定します。



●デフォルト設定

設定の詳細	送信機	受信機
送信機と受信機のデフォルト設定		
<ul style="list-style-type: none"> 内部 EDID HPD 設定は high エコモードは無効 「Long-Reach」モードは無効 		

以下セクションでは、それぞれの DIP スイッチの設定における機能を説明します。DIP スイッチはグレースアウトされている特定の機能は該当しません。なお、DIP スイッチの設定は単独で（または他の機能と連携して）実行可能です。

● EDID マネージメント

EDID モードを変更した場合は必ず送信機を再起動して、行われた変更を有効にします。

設定の詳細	送信機	受信機
ローカル（内部）EDID の場合、大部分の表示機器と互換性を有する一般的な映像 / 音声サポートを提供します。なお、デフォルト設定は内部 EDID です。	 DIP スイッチ 1 : 下	
ダウンストリーム EDID が使用されず。DDC と HPD (Hot-Plug Detect) はパススルーされ、表示機器の音声 / 映像の性能を最大限に用いられます。	 DIP スイッチ 1 : 上	

● Hot-Plug Detect (HPD)

HPD モードを変更した場合、必ず送信機を再起動して、行われた変更を有効にします。

設定の詳細	送信機	受信機
強制的に HPD を high にします。デフォルト設定です。	 DIP スイッチ 2 : 下	
シンク機器からの HPD はソース機器にパススルーされます。	 DIP スイッチ 2 : 上	

●電源モード

設定の詳細	送信機	受信機
節電（エコ）モードの場合、DVI（または HDMI）ケーブルに映像信号が存在する時のみ受信機の電源が入ります。スリープモードでは、消費する電力は 1 ワット以下です。	 DIP スイッチ 3 : 下 DIP スイッチ 4 : 下	 DIP スイッチ 1 : 上 DIP スイッチ 2 : 下
ノーマルモードの場合、受信機の電源は常にオンの状態です。	 DIP スイッチ 3 : 上 DIP スイッチ 4 : 下	 DIP スイッチ 1 : 下 DIP スイッチ 2 : 下

● 「Long-Reach」モード

「Long-Reach」モードに設定すると、音声と映像は最大 150 m まで延長可能です。但し、色深度は 8 ビットに制限されます。

設定の詳細	送信機	受信機
Long-Reach モードの場合、音声と映像は最大 150m まで延長可能です。但し、映像の色深度は 8 ビットとなります。	 DIP スイッチ 3 : 上 DIP スイッチ 4 : 上	 DIP スイッチ 1 : 下 DIP スイッチ 2 : 上
ノーマルモードの場合、音声と映像は最大 100m まで延長可能です。色深度は最大 12 ビットまでサポートします。	 DIP スイッチ 3 : 上 DIP スイッチ 4 : 下	 DIP スイッチ 1 : 下 DIP スイッチ 2 : 下

◆付録

■仕様

対応解像度	1920 x 1200 (WUXGA) 1080p フル HD
最大ピクセルクロック	165MHz
ビデオ入力端子 (送信機)	DVI-I(29ピン、メス、DVI-D 信号のみ) × 1
ビデオ出力端子 (受信機)	DVI-I(29ピン、メス、DVI-D 信号のみ) × 1
リンク端子 (送受信機)	RJ-45 × 1
電源	DC5V、最大 10W
寸法 (※)・質量	W110 × H26 × D86mm、160g

※突起部除く

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.



- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒108-0075 東京都港区港南3-5-12 TEL: 03-5783-3880 FAX: 03-5783-3881
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <http://www.hibino-intersound.co.jp/>